

1. 平成19年度(2007年)概観	4
2. 平成19年度 土木学会田中賞作品部門・受賞作品	9
新豊橋	10
九重“夢”大吊橋	14
港大橋の巨大地震に対する構造再生	18
山切1号高架橋	22
多摩大橋	26
3. 平成19年度 橋梁紹介	
3.1 柄構造【Girder Bridges】	31
新小岩陸橋／第二東名高速道路駒門橋／西新宿ジャンクション高架橋／横浜公園出口高架橋	
3.2 アーチ構造【Arch Bridges】	41
牛根大橋／吉瀬田切大橋	
3.3 骨組構造【Frame Bridge】	47
小坂高架橋	
3.4 ケーブル構造【Cable-Stiffening Bridge】	51
徳之山八徳橋	
3.5 その他【Others】	55
跨座型モノレール軌道柄橋／曳田歩道橋／リバーサイド千秋連絡橋	
3.6 鋼【一般応募橋梁】	63
青江高架橋／青倉2号橋／赤坂橋／赤崎第1高架橋／梓湖大橋／綾木橋／荒川橋／荒草高架橋／板戸大橋／板櫃橋／一新橋／ 隠元橋／大川1号橋／大川橋／梶金橋／仮称1号橋／蟹取橋／上桂川2号橋／上郡丸山橋／上武庫橋／刈安高架橋／ 川島連続高架橋4／川島連続高架橋6／祇園橋／岸原2号橋／吉祥白天橋／久喜高架橋／隈上川橋／桑才新町跨道橋(北行)／ 桑ノ原橋／圈央道越辺川橋／御殿場ジャンクションBランプ第一橋／寿橋／駒門高架橋／砦関道橋／圈央道坂戸高架橋1／ 東雲橋／下木原跨線橋／下蓬田橋／新大倉橋／新小国橋／陣原高架橋／新保高架橋／杉沢橋／関BPAランプ橋／関堀立体／ 第3野木架道橋／第一青龍橋／待月橋／第503工区(梅林)高架橋／棚田橋／谷口高架橋／土穂石大橋／遠目2号橋／ 中河原2号橋／長田大橋／中村橋／南北水路横断橋／西洲崎橋／西山橋／日橋川橋／日暮里・舎人ライナー／ 日暮里・舎人ライナー／根岸橋／白兎横断歩道橋／八王子ジャンクションFランプ橋／引地橋／平子橋／平清水橋(上り線)／ 深谷大橋／福北503工区梅林(その7)／富久山大橋／古川大橋／フレンドリーブリッジ(旧主要地方道京都守口線佐太東歩道橋)／細見川橋／舞岡南橋／御調川橋／宮環・関堀陸橋2008／宮津6号橋／牟礼歩道橋／矢野橋／矢野上橋／湯谷橋／米沢橋／ 鎧田沢橋(下り線)／安治川橋梁／鏡川橋りょう／上ミ屋地橋／かわせみ橋／新河岸橋／新矢柄橋／岩島大橋／大仁橋／強戸橋／ 小貝川橋梁／駒込川橋梁／静岡空港進入灯第1橋梁／新川地区高架橋／浅間町～浄心地区高架橋／田上絆橋／ふたご橋／ 向山橋／小牧原新田橋／芝山ゴルフ場橋／横浜駅東口ペデストリアンデッキ／河辺びっぐぶらむ	

3.7 コンクリート【一般応募橋梁】 79

青木高架橋／旭橋／東高架橋／犬渕大橋／内田池橋／大牟田連続高架橋／岡高架橋／加塩橋／上落水橋／神戸堰管理橋／北董橋／黒喰谷橋／黒滝大橋／小貝川橋りょう／境橋／佐柿高架橋／三遠南信2号橋／清水橋／新轟橋／新湊大橋／芹原大橋／高岡川1号橋／辻橋／第3・第4堂の前架道橋／土立谷橋／中畠橋／七呼ばり橋／西塩川橋／二枚橋1号橋／ねぶたの里高架橋／春井手橋／東浜大橋／姫川橋りょう(北陸新幹線)／平成小諸陸橋／辺地床第二高架橋／ほたて大橋(土屋大橋)／ほたる橋／前芝高架橋／牧口橋／間府大橋／宮環・関瀬陸橋2008／紅葉橋／森吉山大橋／八千代橋／第2友好橋／湯沢橋／吉峰高架橋／和田戸第一橋／和田戸第二橋／長瀬大橋／飯江川橋梁／繁根木川橋りょう／豊水橋／星が浦海岸通架道橋／東川橋／伊佐布2号高架橋(下り線)／伊根舟屋高架橋／牛館川橋りょう／大津ジャンクション橋／川越大橋／亀尾島川橋／錦冬橋／第4・6・7舌山高架橋／水源地大橋／杉谷川橋(下り線)／瀬戸石橋／瀬戸川橋／千本川橋／大茶園橋／高鉢橋／橋取付橋／手稻橋／徳富ダム橋／中里2号橋／長谷橋／山田大橋／赤とんぼ橋(新名西橋)／カムイ・ニセイ橋／牧の原ロードブリッジ橋／三兼池橋／夢見橋

4. 付 錄

平成19年度 土木学会田中賞選考経過	91
平成19年度 土木学会田中賞論文部門・受賞者	92
「非線形応答を考慮した鉄道車両と構造物との連成応答解析法に関する研究」	
松本 信之 田辺 誠 涌井 一 曾我部正道	
「複弦アーチリブの橋軸直角方向地震時耐荷力に関する検討」	
佐野 泰如 小池 洋平 大森 邦雄	
「施工の不具合を原因とする疲労損傷」	
三木 千壽 平林 泰明	
平成19年度 土木学会田中賞(作品部門)	95
土木学会田中賞研究業績部門・受賞業績一覧	100
土木学会田中賞論文部門・受賞論文一覧	103
土木学会田中賞作品部門・受賞作品一覧	107
橋梁建設実績	112
橋梁材料及び工事費実績データ	116
橋梁諸元(データ)一覧	120
業界案内	147

表紙／「四條大橋 (Shijo Ohashi)」(土木図書館所蔵)

京都市の鴨川に架かる鉄筋コンクリート造アーチ橋である。市電の敷設に伴い道路の拡幅が必要となつたため、「くろがね橋」と呼ばれた鉄製の橋に替わり大正2年に架けられた。その後、昭和17年に架替えられた。